

いつ発生するのか分からない災害。万が一の時のために、家庭でも水の備えをしておけば安心です。今日から始められる水の備え方をご紹介します。

## 1 飲料水を確保しよう

大人1人が1日に必要な水は、2.5リットルから3リットルとされています。最低でも3リットル×家族の人数分×3日分の飲料水を備蓄しておきましょう。

水が空気に触れないように、フタまで水をいっぱいに入れよう。



1人分

× 3日分



キーワードは  
3!

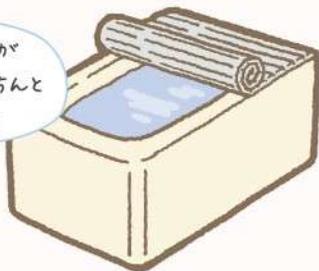
水の保存は冷暗所で3日間が目安。期間が過ぎたらお花にあげたりして中身を交換!



## 2 家庭用水を確保しよう

災害時に最低限の衛生的な生活をするためには、家庭用水の備蓄も大切。お風呂にいつも水をためておくと、トイレの水や消火用水として利用できます。

乳幼児やペットが落下しないようにきちんとフタをしようね。



## 今日からできる 家庭での 水の備え

## 3 応急給水用の 容器を準備しよう

災害などにより断水となった場合は、広報車などで給水拠点をお知らせします。給水拠点で応急給水を行いますので、普段から容器を準備しておきましょう。

風呂敷やリュック、旅行カバンがあると運ぶとき便利だよ!



断水時  
には

防災グッズを活用すると、水の節約ができます。ウェットティッシュや水のいらぬシャンプー、紙皿、紙コップなども準備しておくとう便利です。